

子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

J P子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2023年6月号)

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
https://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



子森通信（2023年6月号）をお送りします。
今月号では、夏のオンライン講座をご案内します。
ご縁があり、水ジャーナリストの橋本 淳司さんに、
「水」を通じてSDG s を考える環境講座をお願いすることができました。
子どもたちに語り継ぎたい、とても貴重なお話しです。
皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。
写真は、事務局で育てている東北のどんぐりの苗木です。すっかり大きくなりました。

(目次)

1. J P子どもの森づくり運動 2023年夏期オンライン講座参加者募集開始
2. 「東北復興グリーンウェイブ」2023年東北の苗木を見送る会レポート
3. リレーエッセイ（2023年6月号）
4. 事務局からのお知らせ

日本郵政グループからのお知らせ

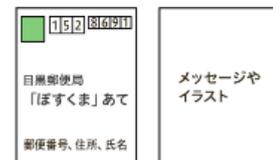
日本郵政グループは「J P子どもの森づくり運動」の支援
のほか、子ども達に向けた様々な取り組みを行っています。

【特別協賛】

 日本郵政グループ



お手紙をくれたみんなに
ぽすくまからお返事が届くよ!



ぽすくまの動画はこちら



YouTube
ぽすくま【日本郵便】
https://www.youtube.com/channe
l/UCeio0TZWe2WgapX_NqUUZ
9A

ぽすくまと仲間たち

© JAPAN POST Co., Ltd.

ぽすくまと仲間たちは
日本郵便のキャラクターです。
ぽすくまは、くまのぬいぐるみの
郵便屋さんです。仲間たちも
みんな手紙が大好きです。

あて先はこちら

〒152-8691
目黒郵便局 「ぽすくま」あて

※ぽすくまへのあて先を記入の際、保護者の方のサポートをお願い
します。返信ご希望の場合は、手紙に住所（建物名・部屋番号
まで）・氏名を忘れず記載ください。

1. JP子どもの森づくり運動 2023年夏期オンライン講座 参加者募集開始

JP子どもの森づくり運動が、毎年夏にお送りする夏期オンライン講座のご案内です。2023年は、年間テーマである「幼児期のSDGsを考える環境講座」として、生活にもっとも身近な「水」をテーマに、水ジャーナリストの橋本 淳司さんのオンライン講座をお送りします。すぐれた幼児期の環境教育は、保育者の高い環境意識から生まれます。この機会に、水を通じて持続可能な環境について考えてみませんか。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

[募集概要]

- 1) 開催日時：2023年7月25日(火)14：00～15：30（Q&Aコーナー15分含む）
- 2) 主 催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
- 3) 特別協賛：日本郵政グループ
- 4) 講 師：橋本 淳司氏（水ジャーナリスト アクアスフィア・水教育研究所代表）
- 5) テ ー マ：「SDGs（持続的な開発目標）と私たちの暮らしの水」
- 6) 開催方法：zoom
- 7) 募集人数：50名
- 8) 募集締切：2023年7月20日(木) ※定員に達し次第、締め切ります。
- 9) 参加費：無料
- 10) 募集方法：ホームページからお申し込みください。右のQRコードからもお申し込みいただけます。



※講師紹介

- 橋本淳司（はしもとじゅんじ）氏
- 水ジャーナリスト。アクアスフィア・水教育研究所代表。武蔵野大学客員教授、東京財団政策研究所「未来の水ビジョン」プログラム研究主幹。NPO法人地域水道支援センター理事。
- 水問題についてメディアで発信。「Yahoo!ニュース個人オーサーアワード2019」、「東洋経済オンライン2021 ニューウェブ賞」など受賞。また、学校での探究的・協働的な学び、自治体、企業の水に関する普及啓発活動をサポート。
- 主な著書に『水辺のワンダー 世界を旅して未来を考えた』『100年後の水を守る～水ジャーナリストの20年』（文研出版）など。

[講師からのメッセージ（「アクアスフィア・水教育研究所」ホームページより）]

アクアスフィア水教育研究所は「みずからかんがえる」ことで持続可能な社会づくりのお手伝いをします。

「みずからかんがえる」には「水から考える」、「自ら考える」という2つの意味があります。

私たちは持続可能性をかけて「水から考え」「自ら考えて行動する」必要があります。

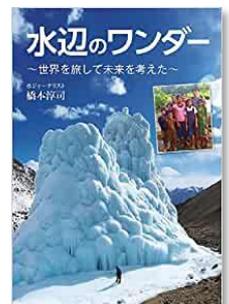
水教育はこれまでの環境教育の枠内で考えられるべきものではありません。

いかに安全な水を確保し生きるか。いかに水から安全を確保し生きるか。

この根源的でシンプルな問いを深く考え、行動することが必要です。

そのために「アクアスフィア水教育研究所」は、水教育の場づくり、人づくり、教材づくりを行ない、

持続可能な社会づくりをサポートします。



講師著書

2. 「東北復興グリーンウェイブ」2023年東北の苗木を見送る会レポート

「東北の苗木を見送る会」は、小さな子どもたちに、「東北の苗木を見送る」活動の意味を伝えるための活動です。今年も活動中、7つの園からレポートをお送りいただきました。今月号から、順にご紹介させていただきます。

1) 広島県「保育所みのり愛児園」

・日時：2023年5月11日(木) ・会場：自園 ・日本郵政グループ：川内郵便局 緑井郵便局 安佐南郵便局
今年も1年ぶりのお見送り会でしたが、郵便局の皆さんのおかげで、無事、「東北どんぐりお見送り会」を終えることができました。送る苗木は2つでしたが、みんなで心を込めてお見送りしました。(園レポートより)



2) 広島県「保育所みのり祇園」

・日時：2023年5月12日(金) ・会場：自園 ・参加園児：36名 ・日本郵政グループ：安佐南郵便局
20本あったどんぐり苗木の内、ようやく2本元気に育ったので、お見送りをすることができました。どんぐりの苗とみんなの気持ちを届けてくれる郵便局の方や**ぼすくまくん**と一緒にお見送り会ができてうれしかったです。(by荒木園長先生)

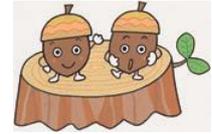


3. リレーエッセイ (2023年6月号)

岩井 光子さんのリレーエッセイ「SDGs入門」の今月号は、SDGsの目標12「つくる責任、つかう責任」をテーマに、和紙についてです。和紙は究極にサステナブルというお話しです。

【SDGs入門】

時が経つほど強くなる 千年を生きるポテンシャルを秘めた伝統製法の和紙
ライター 岩井 光子



春から取材で新潟の和紙工房に何度か足を運んでいます。冬になると3mの雪が降り積もる豪雪地帯で、原料の楮(こうぞ)を雪にさらす独自の製法で知られる和紙の郷です。

ところで、和紙と洋紙の違いを皆さんはご存知ですか？ 一番の違いは洋紙の原料は主に木の幹や枝を細かく刻んだパルプで、和紙の原料は韌皮(じんぴ)繊維と呼ばれる木の“皮”部分です。楮などを刈り取って皮をむき、表面部分を削りとり、煮て、原料を作ります。水とトロロアオイなど粘りのある植物の根の汁を混ぜ、このとろみを活用して簀(す)の隙間から水分が下に落ちるまでの時間を長引かせ、その間に木の漉舟を天地左右にゆすって繊維の向きや紙の厚みを調整するのです。

取材で聞いて驚いたのは、こうした伝統的製法で漉いた和紙は、年月が経てば経つほど強くなるということです。薬品などで漂白して白さを出した場合は年月を経ると繊維が劣化しますが、化学的な処理をしない和紙は、まるで一本の木のように繊維が絡み合い、力強さを増していきます。

和紙職人の方が実際に体験した話によると、明治時代の大福帳の漉き直しを依頼された時、何日も水に浸けたものの繊維はほぐれず、叩いてみても全く太刀打ちできなかったそうです。

SDGs関連の話題を追っていると、紙は木を原料に使うので森林破壊を招くというイメージがあります。深刻な熱帯雨林の違法伐採などに配慮してきちんと管理された森の木で作られていることを認証するFSC認証紙などがありますし、あるいは、森の木は成長に時間がかかって使うサイクルに追いつかないので、成長の早い非木材紙を使う動きもあります。繁殖力の強い竹を有効利用して作る竹紙なども里の保全に貢献できるとされています。



これらも大切な取り組みではありますが、新潟で聞いた話だと、楮も実は成長は早く、1年で3、4m伸び、株を残しておけば、数年で収穫できるそうです。国産の楮は大幅に減っていますが、日本の風土を活かした原料と製法で作られる和紙は究極にサステナブルな製品であることを初めて知りました。

SDGsの目標12に「つくる責任、つかう責任」があります。消費と生産を持続可能にする目標です。保育施設でも紙を使う機会は多いと思いますが、日本の風土と知恵の詰まった和紙に触れる機会がもっと増えるといいなと思いました。

※【筆者紹介】岩井 光子氏：ウェブメディア“think”編集。SDGs関連の記事をニューズウィーク日本版、ELLEなど一般誌で執筆。群馬県高崎市在住。

4. 子森ネットからのお知らせ

子森ネットは、今年度より、林野庁、国土緑化推進機構と共に、園庭や地域の森林の整備・緑化を推進する全国運動「こどもの森づくりフォーラム」に取組みます。第1回目は7月9日(日)に埼玉県秩父市で開催されます。詳細は、右のQRコードで案内中です。よろしければご参加ください。

